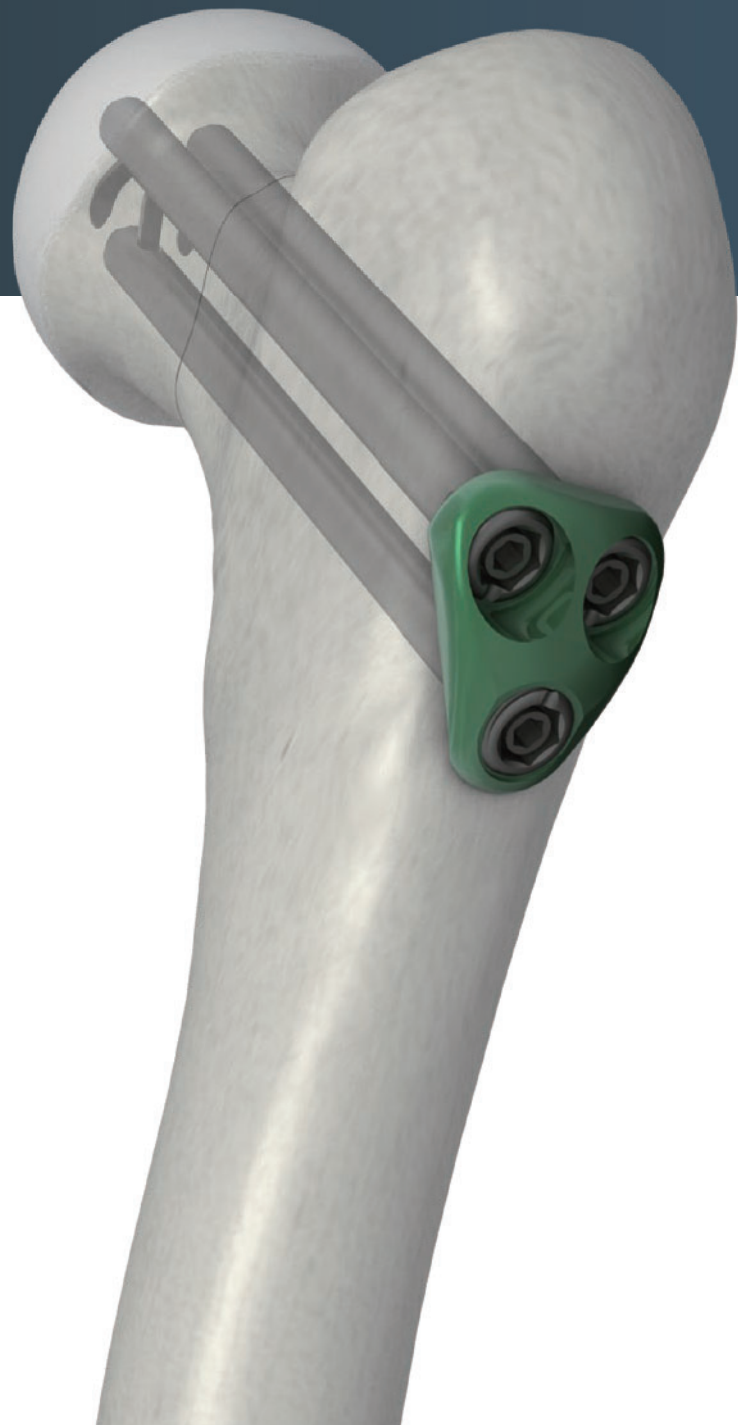


Hansson Pinloc system

ハンソンピンロックシステム

- ▶ 回旋に対する高い安定性
- ▶ 持続的ダイナミゼーション
- ▶ 強力な内側支持性
- ▶ 後方転位の防止



Hansson Pinloc system



ハンソンピンロックシステムは、内固定後の骨折部再転位という問題を克服するために研究され、ハンソンピンシステムの利点を追加し、開発された次世代の骨接合システムです。

今日まで大腿骨頸部骨折や大腿骨頭すべり症の25万以上の症例で使用されてきたハンソンピンシステムは、大腿骨頭壊死のリスク低減を目指して、大腿骨頭の血流へのインプラントによる影響に関する研究に基づいて開発されました。

一方、ハンソンピンロックシステムは、骨折部の固定性、術後の骨片転位の防止効果を長年にわたり研究し開発されています。

回旋に対する高い安定性

ピン3本とプレートが固定され一つのダイナミックユニットになることで、強固な固定と安定性が構築されます。ピン/プレートのユニットが骨内で一斉に回旋しない限り、骨頭が回旋転位することはありません。

強力な内側支持性

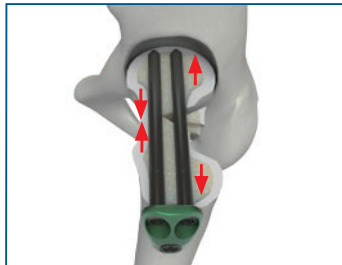
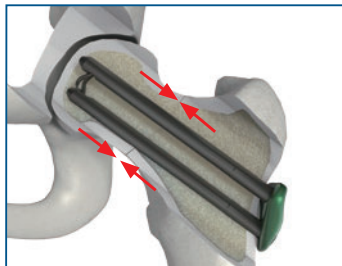
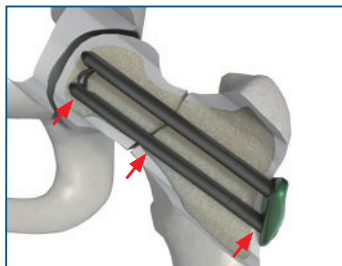
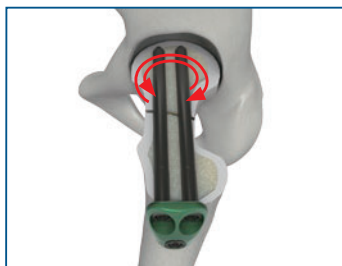
遠位のピンは外側皮質、内側皮質、軟骨下骨3か所で接触することで内反に対する強力な安定性を確保します。

持続的ダイナミゼーション

3本のピンが平行に設置され、且つプレートにロックされることにより骨折部に対して確実に持続的なダイナミゼーションを加えます。

後方転位の防止

ピンとプレートが一つのユニットとして連結されているため、後方への荷重に対して後方ピン単体でスライドしてくることはありません。これにより後方転位と頸部の短縮を防止することができます。

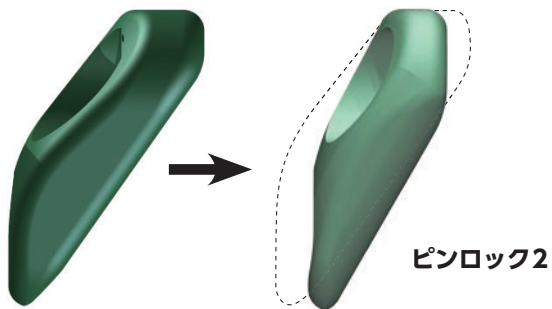


ハンソンピンロック2 プレート

ピンロックをご使用いただいた日本の先生方のご意見を基に、よりロープロファイルなプレートとして開発されました。

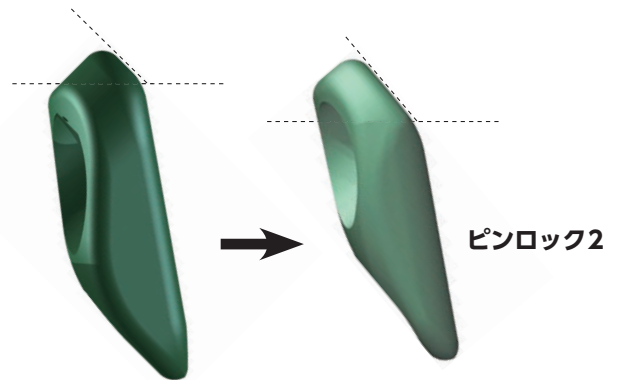
軟部組織の圧迫を軽減

金属量を25%削減することでプレートをより薄くすることができました。



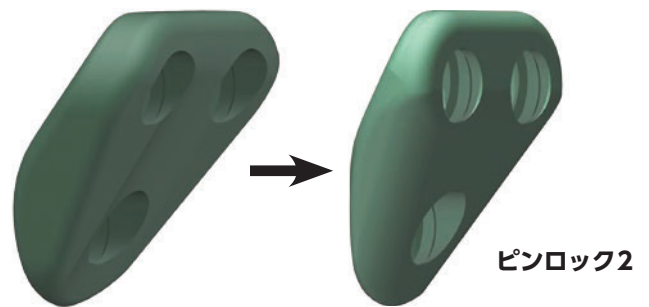
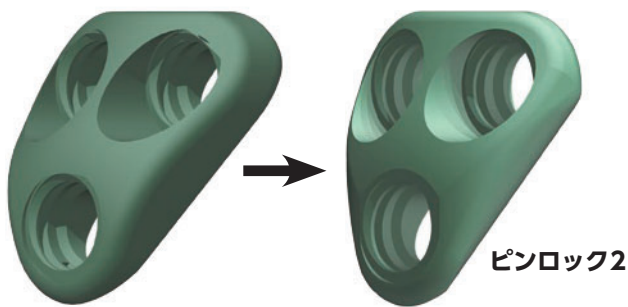
大転子外側部の接触を低減、ストレスのない設置が可能に

プレート裏面の近位面取り部がより遠位になりました。

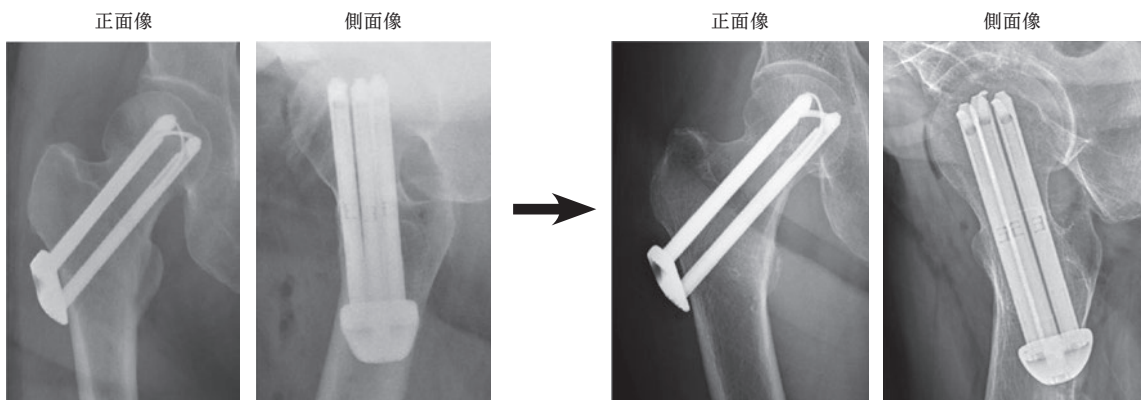


骨面との高い整合性を実現、筋膜縫合を容易に

プレートの骨接触部、および表面の角を取り、丸みを帯びた形状にしました。



適応例



ピンロック2

写真提供：静岡赤十字病院 野々宮廣章先生

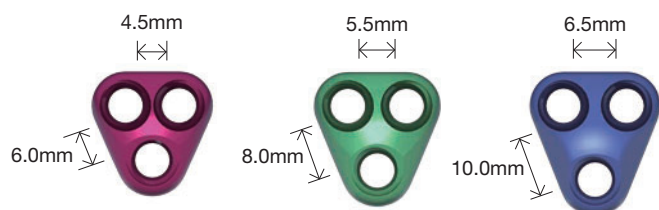
ハンソンピンロック ピン

カタログ番号	全長	カタログ番号	全長
62-1070S	70mm	62-1095S	95mm
62-1075S	75mm	62-1097S	97.5mm
62-1080S	80mm	62-1100S	100mm
62-1082S	82.5mm	62-1105S	105mm
62-1085S	85mm	62-1110S	110mm
62-1087S	87.5mm	62-1115S	115mm
62-1090S	90mm	62-1120S	120mm
62-1092S	92.5mm		



ハンソンピンロック2 プレート

カタログ番号	規格
62-2106S	6mm
62-2108S	8mm
62-2110S	10mm



医療機器承認番号 販売名
22600BZX00104000 ハンソンピンロック

Japan

この印刷物はstryker社の製品を掲載しています。全てのstryker社製品は、ご使用前にその添付文書・製品ラベル・取扱説明書をご参照ください。この印刷物に掲載されております仕様・形状は改良等の理由により、予告なしに変更されることがあります。stryker社製品についてご不明な点がございましたら、弊社までお問合せください。

Literature Number: IF1-70
YN/MI 3m 06/19

Copyright © 2019 Stryker
Printed in Japan

製造販売業者
日本stryker株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp

医療従事者向けサイト: Stryker medical professional site
www.stryker.co.jp/mp2/